

事務事業 No./名 称	■サービス部門 都整-39		維持管理費(雨水)					
	□支援部門							
主管課	下水道河川課		関連課	総合防災課				
分野名	下水道・河川							
目標 (目標値)	大雨や台風による洪水や溢水から市民を守る。							
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考			
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯				
	事業の対象者数							
運営資源 状 況	決算値(千円)	37,792	65,058	53,212				
	(国・県)							
	(負担金等)							
	(一般財源)	37,792	65,058	53,212				
	人員配置数	2.1	2.8	2.1				
	人件費(千円)	16,911	33,164	18,064				
	協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	54,703	98,222	71,276				
	市民1人当 りの経費(円)	309	554	402				
	対象者1人 当りの経費(円)							
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒							
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)	
雨水幹線の補修延長・修繕要望対応件数	○	目標値	200m 150件	200m 150件	200m 150件	200m 150件	200m 150件	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	124m 143件	175m 220件	154m 235件	19m 199件		

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止									
維持管理費(雨水)	37,792千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	台風や大雨等による溢水や洪水等の被害を未然に防ぐため、水路や排水溝等の雨水排水施設の修繕を行うとともに施設のしゅんせつ・清掃等の業務を委託する。 雨水幹線の劣化診断調査結果を基に施設の改修・修繕を行う。													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	大雨等による浸水被害の解消、施設の老朽化が原因で発生する道路陥没等から市民生活の安全を確保するため、劣化改修を推進する。		
課題解決のための取組	安全性を考慮し、低廉な工法を採用することにより、可能な限り浸水被害の解消を図った。 また、劣化改修のための劣化診断調査を行った。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	雨水管渠等の劣化診断調査結果に基づく改修が進んでいない。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
	②妥当性 ○	雨水排水施設の修繕工事は突発的で緊急性の高いものが多いことから、作業センター等の庁内連携を適切に図って緊急時に備えることはもとより、施設の健全度評価に基づいた事業を進める。		↓ A	課長等名
	③有効性 ○				下水道河川課担当課長
	④公平性 ○				渡辺 一

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
維持管理費(雨水)	主な個別事業	538 消耗品費	182	182	○	○	○	○
		538・1263 雨水排水施設維持修繕料(排水管等修繕)	45,017	26,763	○	○	○	○
		538・1263 県道復旧事務費手数料	48	0	○	○	○	○
		1263 雨水幹線の劣化診断調査委託料	10,000	4,410	○	○	○	○
		538 雨水管渠等しゅんせつ委託料	3,000	1,831	○	○	○	○
		538 管理施設除草・枝払い等委託料	1,530	1,089	○	○	○	○
		538 工事資材単価調査委託料	100	0	○	○	○	○
		538 地下埋設物調査等委託料	60	0	○	○	○	○
		538 雨水管渠テレビカメラ調査委託料	800	787	○	○	○	○
		538・1263 公共下水道(雨水)維持修繕工事請負費	8,000	2,730	○	○	○	○
		538・1263 地下埋設物移設等補償金	95	0	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							